

資源循環

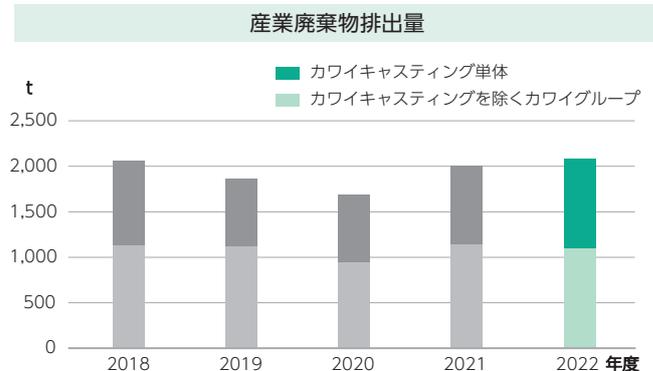
資源循環の取り組みを推進しています



産業廃棄物排出量の削減

カワイグループ（国内）の産業廃棄物排出量は、2012年度にピアノフレーム製造の(株)カワイキャストがグループの一員となり、鋳物製造時に生じる大量の鋳さいが廃棄物として排出されたため、3,203tにまで増加しました。その後、生産ラインの合理化や生産効率の改善に取り組み廃棄物排出量の削減に努めてまいりました。

2022年度の国内全体の産業廃棄物排出量は、生産量増加に伴い2,088tと前年度（基準年）からは4.3%増加していますが、2012年度比では34.8%の削減となりました。

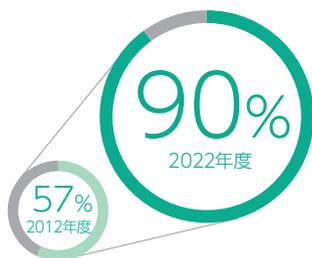


再資源化の取り組み

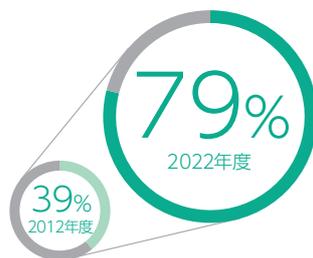
2012年度の(株)カワイキャストの再資源化率は39%でしたが、鋳さいの路盤材などへの活用を進めたことにより、2022年度には79%に改善しています。これに伴い、国内全体の再資源化率は2012年度57%から2022年度90%まで向上しています。

カワイグループ全体で産業廃棄物の排出量が最も多い竜洋工場では、産業廃棄物の木くず、木粉を製紙原料、ボード原料、堆肥、燃料等に、フェルト屑を堆肥等に、塗装廃棄物を無害な石に固め活用する等により、再資源化率100%を達成しています。

カワイグループ再資源化率



カワイキャスト再資源化率



竜洋工場再資源化率

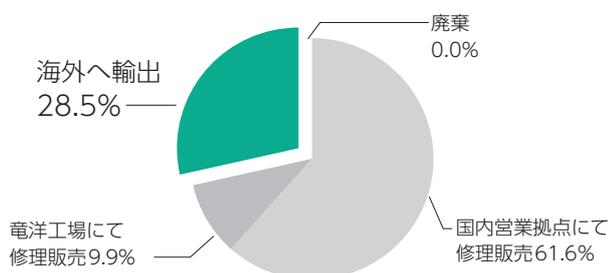


リサイクル・リユースの取り組み

循環型社会形成推進のための拡大生産者責任の考え方を踏まえて、ピアノの再生とリユースを推進しています。現在、国内統括部の中古ピアノ担当グループが竜洋工場内で本事業を担当しています。下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2022年度は国内で約700台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、28.5%が輸出され、世界の各地で使われています。

下取りしたピアノの再生・リユース（2022年度）



メーカーによるピアノの修理・再生

メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者により、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。



再生は、ピアノの製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から好評をいただいています。また、カワイ製ピアノについては純正パーツによる修理・再生も可能で、大きな魅力となっています。